



飯地小学校 HP

夢もち、懸命に生きる子 ～進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子～



経験したからこそ感じるもの



校長 原田 三千代

71日間の1学期が終了しました。先ずは71日間、大きな事故等もなく、無事に今日の日を迎えられたことにホッとすると同時に、子どもたちを支えていただいたご家族の皆様、地域の皆様には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

突然ですが、縁あってスペインのマドリードで3年ほど生活をしたことがあります。現地に降り立ったのは、娘たちが小学1年生と年少の年でした。言葉の違う異国の地で子どもたちを育てるということに、観光ででかけるのとは違う緊張感をもちながら新生活をスタートしたことを思い出します。

最初にくじけたのは、下の娘を連れて近くのスーパーへ買い物に行った時のことでした。重い荷物に気を取られた瞬間、3歳の娘が階段から転がり落ちました。幸い大事には至らなかったのですが、口が腫れ、前歯がかけしてしまいました。病院はどこなのか、どういう手順で診察してもらうのか、治療費は・・・どうしたらよいのか分からず途方に暮れました。「日本に帰りたい!」本気で思った瞬間でした。

海外での生活は、それまでの常識では考えられないことばかりの連続でした。文化も気候も考え方も、小さいことを言えば食事の時間も、店の開店時間も、電車の到着時刻も、待ち合わせ時刻の感覚も・・・日本の「常識」が通用しない生活に戸惑うことばかりでした。しかし、多くの方々の支えのおかげでスペインの生活にも徐々に慣れ、3年がたった頃にはたくさんの友達もでき、「また住みたい!」と思えるほどの大好きな場所になりました。

帰国して一番に感じたこと。それは「日本っていい国だなあ」という思いでした。日本にずっといたならば、きっと気付くことのできなかった発見でした。自分が生まれ育った国の良さを再確認できた貴重な3年間だったと同時に、実際の経験から学ぶことの大きさを、身をもって実感した3年間でもありました。

昨日、子どもたちと一緒に「国道418号7号橋(仮称)工事現場」を見学させていただくという貴重な経験をさせていただきました。地域のインフラ整備や建設 DX について学び、将来の飯地地区の展望に夢がふくらむ時間になりました。「10年後、この橋が開通したら、この地域にはどんなことが起こるのだろう・・・!?」多くの子が、未来の飯地のビジョンを頭の中に描きながら、見学していたことと思います。見て、聞いて、感じて、考えて、想像して・・・こんな経験をもっともっと大切にしていきたい!飯地小の校長としても、たくさんの刺激をいただけた時間になりました。

いよいよ夏休みがスタートします。特別なことではなくても、家族で花火をしたこと、みんなでそうめんを食べたこと、工作をしたこと、夕方涼しくなってから散歩をしたこと・・・日常のこんな経験が、子どもたちの素敵な思い出と心の栄養になることと思います。ご家族で素敵な夏休みをお過ごしください。

Que tengas unas estupendas vacaciones de Verano! (よい夏休みを!)

飯地小学校運営協議会コーナー 「第2回学校運営協議会・給食試食会」 7月6日(月)

～地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』～

ふるさと探訪遠足・農園での野菜づくり・民俗資料館見学・五平餅づくりの見学・壮健クラブのみなさんとの花植え・朴葉寿司づくり等々・・・4月からの活動の振り返りをすると共に、学校の安全な運営についての意見交換が行われました。また、子どもたちの挨拶の声が地域に響いていることをお聞きし大変嬉しい1学期締めくくりの会となりました。

